# ３［評論］リカ『しがみつかない生き方』

　私が大学を出て就職したのは、ひとえに〝パンのため〟であった。大学卒業と同時に仕送りはいっさい止める、と親に言われて、とにかくすぐにａホウシュウがもらえるようにしなければ、と思ったのだ。大学院に進む、留学する、無給だが人気の研修病院に行く、といった選択も自動的になくなった。後で考えると、最初から選ばなかったほうに「本当にやりたいこと」に近いものがあったことに気づいたが、まさに後の祭り。①そのときは落ち込んだが、だからといって働くのをやめるわけにもいかず、ますます②〝パンのため〟と割り切って仕事に精を出すようになった。

　ただ、仕送りがなくても自分で生計を立てている、ということは、それだけで私に思わぬ自信を与えてくれた。自分でｂカセいだ金なのだから、とほとんどをＣＤ代につぎ込んだ月もあったが、そんな使い方をしてもにも文句を言われない。「どうしてもほしい本があって」などと親に頭を下げて仕送りにプラスしてもらっていた学生時代とは、解放感がまったく違う。

　それに、〝パンのため〟であれば仕事にも身が入らないか、というと、それも違った。この仕事を失ったら今月から暮らせないと思うと、かえってそれなりに真剣になる。また、仕事そのものが「本当に好きなこと」とは違っていたとしても、その中である程度、長くやっていると、だんだん技術が身についていく、まわりの人からも認められたり頼りにされたりする、という③別の喜びが味わえる。しかも、たとえちょっとした失敗をしても、「これはしょせん本当に好きな仕事じゃないんだから」という逃げ道があるので、激しく落ち込まずにすむこともある。仕事と適度な距離を保つことができるので、燃えつきずに長く続けることもできる。これは［　　Ａ　　］でも何でもなく、私はある時点から「やりたいことを仕事にしなくてよかった。自己実現のためではなく、〝パンのため〟の仕事だからこそ、私はこうして続けていられる」と思うようになった。

　もちろん、自分は仕事を通して自己実現できている、と思っている人は、あえてそれを自分で否定する必要はない。「私は恵まれている」と思って、ますます仕事に打ち込めばいいだろう。ただ、「好きなことを仕事にしていない」「仕事で夢を追いかけていない」という人も、自己嫌悪にｃ陥ったりその仕事をやめたりする必要はないのだ。「私は何のために働いているのか」と深く意味をつきつめないほうがよい。どうしても意味がほしければ、「④生きるため、パンのために働いている」というのでも、十分なのではないだろうか。

　人は、パンのみにて生きるにあらず。しかし、パンなしでは、愛のｄジッセンも夢の実現も不可能なのもまた事実だ。パンのためだけにどうしても嫌いな仕事につくことを強いられたり、雇用者にｅ搾取され続けたりするのは問題だが、深い意味がなくても仕事をし続けるのは、それじたいでけっこう意味があることなのではないか、と思うのである。

◆漢字　本文中の二重傍線部ａ〜ｅのカタカナを漢字に直し、漢字は読みをひらがなで記せ。

ａ〔　　　　　〕　ｂ〔　　　　　〕　ｃ〔　　　　　〕　ｄ〔　　　　　〕　ｅ〔　　　　　〕

問１　傍線部①とはいつのことか。「〜とき」に続くように本文中から四〇字以内で抜き出し、最初と最後の五字を答えよ。7点

〔　　　　　　　　　　〕〜〔　　　　　　　　　　〕とき

問２　傍線部②とあるが、その結果得られたものの説明として適当でないものを次から選べ。6点

ア　自分で生計を立てていることによる自信。

イ　嫌いな仕事でも好きになれる真剣さ。

ウ　仕事を続けることによる技術の向上。

エ　仕事で得たお金を自由に使える解放感。

オ　まわりから認められたり頼りにされたりする喜び。

〔　　　〕

問３　傍線部③とあるが、何と「別」なのか。「〜喜び」の形で説明せよ。7点

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕喜び

問４　空欄Ａに入る最も適当な語句を次から選べ。6点

ア　絵空事　　　イ　真実　　ウ　泣き言　　エ　わがまま　　オ　強がり

〔　　　〕

問５　傍線部④とあるが、このような働き方のメリットを、本文中の表現を用いて、それぞれ三〇字以内で二つに分けて答えよ。8点×2

①〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

②〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問６　「パンのため」の仕事と対比的に述べられている仕事の意味を、本文中の語句を用いて「〜のため」の形で答えよ。8点

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕のため

【解答】

漢字　ａ報酬　ｂ稼（いだ）　ｃおちい（った）　ｄ実践　ｅさくしゅ

問１　最初から選〜に気づいた（とき）（40字）

問２　イ

問３　仕事そのものが本当に好きなことである（喜び）

問４　オ

問５　①失敗しても逃げ道があるので、激しく落ち込まずにすむこと。

　　　②仕事と適度な距離があることで、長く仕事を続けられること。（いずれも28字）

問６　自己実現（のため）

■覚えておきたい語句

□1　ひとえに………………ひたすらに。もっぱら。

□4　後の祭り………………時機遅れで、無駄なこと。手遅れ。

□6　精を出す………………根気よく働く。熱心に励む。

□21　自己嫌悪………………自分で自分がいやになること。

〔要　約〕

1～3段落…筆者の体験や感想。

4・5段落…その体験などをもとにした、仕事についての筆者の見解。

　よって、4・5段落を柱にし、それを支える例や理由は割愛する。

　　　　↓

“パンのため”の仕事だからこそ、私は仕事を続けられた。仕事の意味はつきつめないほうがよく、意味がほしければ“パンのため”というので十分だ。深い意味がなくても仕事をし続けるのは、それじたいで意味がある。（100字）

〈筆者＆出典〉香山リカ（かやま・りか）一九六〇年（昭和35）北海道生まれ。精神科医、臨床心理士、立教大学現代心理学部教授。豊富な臨床経験を生かし、現代人の心の問題のほか、政治・社会批評、サブカルチャー批評など幅広いジャンルで活躍する。『スピリチュアルにハマる人、ハマらない人』など、著書多数。本文は、『しがみつかない生き方―「ふつうの幸せ」を手に入れる10のルール』（幻冬舎新書、二〇〇九年）より。

【読みのセオリー】

★空欄補充は前後の論の流れを考える

（１）　空欄補充の問題では、空欄だけを見ていても答えは入らない。空欄は空欄だけで成立しているのではなく、その前後の語句に縛られ、論の流れに規定されている。

（２）　空欄前後を含めた表現と対応する表現がないかを探す。

（３）　空欄直前に指示語がある場合は、まず指示語の指す内容をとらえることが重要である。

■読みのセオリー［実践］空欄補充は前後の論の流れを考える

問４　空欄の直前の指示語に注目しよう。

　空欄Ａの直前の「これ」は、普通と違って、「これ」の後の

［１　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

という筆者の思いを指している。

　その思いは、一般論とは、［２　　　　　］の内容なので、読者に誤解されないように、あらかじめ［　　Ａ　　］ではないと言っているのである。

〔解答〕　１やりたいことを仕事にしなくてよかった。自己実現のためではなく、“パンのため”の仕事だからこそ、私はこうして続けていられる　２逆（反対）

☆「セオラム補充問題」　問題は、次の３種類があります。

　　＊差し替え　　　……該当の問と差し替えるもの

　　＊追加　　　　　……同じ問で、追加された問題

　　＊新問　　　　　……追加可能な新たな問題

＊差し替え

問１　４〜５行目「そのときは落ち込んだ」とあるが、その理由を答えよ。

　［答］　最初から選ばなかったほうに「本当にやりたいこと」に近いものがあったから。

＊差し替え

問５　３段落の最後で筆者が「やりたいことを仕事にしなくてよかった。自己実現のためではなく、〝パンのため〟の仕事だからこそ、私はこうして続けていられる」と思っているのはなぜか。その理由を本文中の表現を用いて、それぞれ三○字以内で二つに分けて書け。

　［答］①　失敗しても逃げ道があるので、激しく落ち込まずにすむから。

　　　　②　仕事と適度な距離があることで、長く仕事を続けられるから。

＊新問

問７　傍線部③とあるが、どのような喜びか、二つに分けて答えよ。

　［答］＊仕事の技術が（だんだん）身についていく喜び。

＊まわりの人からも認められたり頼りにされたりする喜び。